

国立民族学博物館研究報告 vol.20-2; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	20
号	2
発行年	1995-11-10
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009190

1995—20_卷2_号

国立民族学博物館 研究報告



Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of
Southeastern Sudan——Eisei Kurimoto

中国辺境諸民族の文化と居住地

——エーバーハルト説の紹介と評価(その I. 概観)——大林太良

中国・口承長篇物語のテキストと語り

——語りもの「樂亭大鼓」にもとづいて——井口淳子



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

20 卷 2 号

1995 年

目 次

Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of Southeastern Sudan	Eisei Kurimoto.....	261
中国辺境諸民族の文化と居住地 ——エーバーハルト説の紹介と評価 (その I. 概観)——	大林太良.....	313
中国・口承長篇物語のテキストと語り ——語りもの「樂亭大鼓」にもとづいて——	井口淳子.....	357
彙 報		419
国立民族学博物館研究報告寄稿要項		425
国立民族学博物館研究報告執筆要領		426

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 20 No. 2

1995

- KURIMOTO, Eisei Coping with Enemies: Graded Age System among the
Pari of Southeastern Sudan 261
- OBAYASHI, Taryo Ethnic Groups in Border Regions of China in
Historical Times: An Appraisal of "Kultur und
Siedlung der Randvölker Chinas" by Wolfram
Eberhard. Part I: General Considerations 313
- IGUCHI, Junko Text and Narration of Chinese Oral Narrative: The
Case of the Narrative Music Genre *Laoting Dagū* ... 357

彙報

(平成7年4月～
平成7年6月)

人事異動

(行政職)

(昇任)

4月1日 鳥取大学附属図書館事務部長
久野 木
(情報管理施設情報企画課長)
情報管理施設情報企画課専門官
宇野 文男
(情報管理施設情報企画課専門
員)

(転任)

4月1日 国立国際美術館庶務課長
加藤 建夫
(管理部研究協力課長)

(配置換)

4月1日 管理部研究協力課長
伊藤 憲彦
(千葉大学留学生課長)
情報管理施設情報企画課長
木村 伸夫
(国立歴史民俗博物館資料課
長)
情報管理施設情報システム課長
阿部 雅機
(愛媛大学附属図書館情報管理
課長)
神戸大学附属図書館情報サー
ビス課長 故選 義浩
(情報管理施設情報システム課
長)

(教育職)

(名誉教授称号授与)

4月1日 周 達生
松澤 員子

(採用)

4月1日 第三研究部助教 杉本 良男

第三研究部助手 三島 禎子

(昇任)

4月1日 第一研究部教授 中牧 弘允
(第一研究部助教)
第一研究部教授 秋道 智彌
(第一研究部助教)
第五研究部教授 大森 康宏
(第五研究部助教)
千葉大学助教授 栗田 禎子
(第三研究部助手)
東京外国語大学講師
安村 直己
(第四研究部助手)

(転任)

4月1日 第四研究部助教 佐々木史郎
(大阪大学大学院言語文化研究
科助教)
地域研究企画交流センター助教
授 臼杵 陽
(佐賀大学教養部助教)

(配置換)

4月1日 第一研究部教授 大塚 和義
(第五研究部教授)
地域研究企画交流センター教授
吉田 集而
(第一研究部教授)

(客員研究部門)

4月1日 第二研究部教授 石井 溥
(東京外国語大学教授)
第二研究部教授 山下 晋司
(東京大学教授)

(外国人客員研究部門)

4月1日 第五研究部教授
SHAMSUL, Amri Baharuddin
(マレーシア, マレーシア国民
大学教授)
〈任期 7. 4. 1～8. 3.31〉

5月30日 第五研究部助教授
TAYLOR, Luke
 (オーストラリア国立博物館研
 究開発主任学芸員)
 〈任期7. 5.30~8. 5.15〉

6月16日 第五研究部助教授
GACHET, Nathalie
 (フランス, パリ第10大学・映
 画・TV・視聴覚部講師)
 〈任期7. 6.16~8. 3.31〉

日野 舜也 (6. 9.15~8. 9.14)
 細野 昭雄 (6. 4. 1~8. 3.31)
 松園万亀雄 (6. 9.15~8. 9.14)
 宮田 登 (6. 9.15~8. 9.14)
 石毛 直道 (7. 4. 1~9. 3.31)
 栗田 靖之 (7. 4. 1~9. 3.31)
 黒田 悦子 (6. 9.15~8. 9.14)
 崎山 理 (6. 4. 1~8. 3.31)
 杉田 繁治 (7. 4. 1~9. 3.31)
 杉村 棟 (6. 9.15~8. 9.14)
 友枝 啓泰 (6. 9.15~8. 9.14)
 藤井 知昭 (6. 9.15~8. 3.31)
 松原 正毅 (7. 4. 1~9. 3.31)
 和田 正平 (6. 9.15~8. 9.14)

評議員 (7. 7. 1 現在)

氏名	任期
石井 進	(6. 9.15~8. 9.14)
石川 榮吉	(6. 9.15~8. 9.14)
伊藤 幹治	(6. 9.15~8. 9.14)
井村 裕夫	(6. 9.15~8. 9.14)
上山 春平	(6. 9.15~8. 9.14)
梅原 猛	(6. 9.15~8. 9.14)
大西 昭男	(6. 9.15~8. 9.14)
岡田 節人	(6. 9.15~8. 9.14)
加藤 秀俊	(6. 9.15~8. 9.14)
金森順次郎	(6. 9.15~8. 9.14)
北村 甫	(6. 9.15~8. 9.14)
木田 宏	(6. 9.15~8. 9.14)
木村 重信	(6. 9.15~8. 9.14)
祖父江孝男	(6. 9.15~8. 9.14)
坪井 清足	(6. 9.15~8. 9.14)
中根 千枝	(6. 9.15~8. 9.14)
樋口 敬二	(6. 9.15~8. 9.14)
本間 長世	(6. 9.15~8. 9.14)
宮田 満雄	(6. 9.15~8. 9.14)

運営協議員 (7. 7. 1 現在)

氏名	任期
井上 忠司	(6.11.16~8.11.15)
牛島 巖	(6. 9.15~8. 9.14)
大貫 良夫	(6. 9.15~8. 9.14)
佐原 眞	(6. 5.16~8. 5.15)
田中 二郎	(6. 9.15~8. 9.14)
谷 泰	(6. 4. 1~8. 3.31)
長島 信弘	(6. 9.15~8. 9.14)

顧問

梅棹 忠夫 (5. 4. 1~)

懇話会委員 (7. 7. 1 現在)

氏名	任期
栗津 潔	(6. 7. 1~8. 6.30)
井上 義國	(6. 7. 1~8. 6.30)
岡田 善雄	(6. 7. 1~8. 6.30)
勝井 三雄	(6. 7. 1~8. 6.30)
川添 登	(6. 7. 1~8. 6.30)
黒川 紀章	(6. 7. 1~8. 6.30)
小林 公平	(6. 7. 1~8. 6.30)
小林庄一郎	(6. 7. 1~8. 6.30)
小松 左京	(6. 7. 1~8. 6.30)
谷口 文夫	(7. 7. 1~9. 6.30)
津田 和明	(6. 7. 1~8. 6.30)
堀切 民喜	(6. 7. 1~8. 6.30)
山下 俊彦	(6. 7. 1~8. 6.30)
山本 信孝	(6. 7. 1~8. 6.30)
湯浅 叡子	(6. 7. 1~8. 6.30)

情報システム運営委員 (7. 7. 1 現在)

氏名	任期
伊東 太作	(6. 7. 1~8. 6.30)
井上 如	(7. 4. 1~9. 3.31)
及川 昭文	(7. 4. 1~9. 3.31)
大林 太良	(7. 4. 1~9. 3.31)

国井 利泰 (7. 4. 1~9. 3.31)
 柴田 正美 (5.11.16~7.11.15)
 長尾 眞 (7. 4. 1~9. 3.31)
 中野 照海 (6.10. 1~8. 9.30)
 中山 和彦 (7. 4. 1~9. 3.31)
 八村廣三郎 (6.10. 1~8. 9.30)
 星 仰 (5.11.16~7.11.15)
 松村多美子 (6. 7. 1~8. 6.30)
 吉田 将 (7. 4. 1~9. 3.31)
 藤井 知昭 (7. 4. 1~8. 3.31)
 栗田 靖之 (7. 4. 1~9. 3.31)
 石毛 直道 (7. 5. 1~9. 4.30)
 小山 修三 (7. 4. 1~9. 3.31)
 杉田 繁治 (7. 4. 1~9. 3.31)
 藤井 龍彦 (7. 7. 1~9. 6.30)
 松原 正毅 (7. 4. 1~9. 3.31)
 長野 泰彦 (7. 4. 1~9. 3.31)
 久保 正敏 (7. 4. 1~9. 3.31)
 東府 義之 (7. 4. 1~9. 3.31)

佐々木長生 (7. 4. 1~9. 3.31)
 佐野 賢治 (7. 4. 1~9. 3.31)
 澤 四郎 (7. 4. 1~9. 3.31)
 篠原 徹 (7. 4. 1~9. 3.31)
 下野 敏見 (7. 4. 1~9. 3.31)
 杉本 尚次 (7. 4. 1~9. 3.31)
 高橋 克夫 (7. 4. 1~9. 3.31)
 立平 進 (7. 4. 1~9. 3.31)
 田中忠三郎 (7. 4. 1~9. 3.31)
 鶴藤 鹿忠 (7. 4. 1~9. 3.31)
 名久井文明 (7. 4. 1~9. 3.31)
 西村 綏子 (7. 4. 1~9. 3.31)
 野口 光敏 (7. 4. 1~9. 3.31)
 野村 史隆 (7. 4. 1~9. 3.31)
 藤本 英夫 (7. 4. 1~9. 3.31)
 本庄 清志 (7. 4. 1~9. 3.31)
 山路 興造 (7. 4. 1~9. 3.31)
 米田 実 (7. 4. 1~9. 3.31)
 和田 正洲 (7. 4. 1~9. 3.31)

国内資料調査委員 (7. 7. 1現在)

氏名	任期
飯島 康夫	(7. 4. 1~9. 3.31)
石塚 尊俊	(7. 4. 1~9. 3.31)
泉 房子	(7. 4. 1~9. 3.31)
犬塚 幹士	(7. 4. 1~9. 3.31)
今村 充夫	(7. 4. 1~9. 3.31)
岩井 宏實	(7. 4. 1~9. 3.31)
岩崎 真幸	(7. 4. 1~9. 3.31)
大城 学	(7. 4. 1~9. 3.31)
大村 和男	(7. 4. 1~9. 3.31)
柏村 祐司	(7. 4. 1~9. 3.31)
勝部 正郊	(7. 4. 1~9. 3.31)
萱野 茂	(7. 4. 1~9. 3.31)
神崎 宣武	(7. 4. 1~9. 3.31)
木崎 和廣	(7. 4. 1~9. 3.31)
岸田 定雄	(7. 4. 1~9. 3.31)
木下 尚子	(7. 4. 1~9. 3.31)
倉田 亨	(7. 4. 1~9. 3.31)
小泊 立矢	(7. 4. 1~9. 3.31)
坂本 育男	(7. 4. 1~9. 3.31)
坂本 正夫	(7. 4. 1~9. 3.31)

館内各種委員会 (7. 7. 1現在)

○長期計画策定特別委員会委員

藤井 知昭	石毛 直道	中牧 弘允
秋道 智彌	近藤 雅樹	栗田 靖之
田村 克己	杉島 敬志	上杉 富之
端 信行	柄木田明子	藤井 龍彦
吉田 憲司	林 勲男	杉田 繁治
森田 恒之	吉本 忍	松原 正毅
吉田 集而	東府 義之	河野 克俊
伊藤 憲彦	井上 信一	山岸 大紘
木村 伸夫	小早川良規	阿部 雅機

○新展示棟増設特別委員会委員

藤井 知昭	石毛 直道	中牧 弘允
栗田 靖之	福岡 正太	庄司 博史
吉田 憲司	森田 恒之	山本 紀夫
大森 康宏	久保 正敏	井上 信一
山岸 大紘	木村 伸夫	阿部 雅機

○標本資料委員会委員

石毛 直道	大塚 和義	松山 利夫
福岡 正太	田邊 繁治	野村 雅一
三島 禎子	藤井 龍彦	佐々木史郎
森田 恒之	園田 直子	吉本 忍

- | | | | | | |
|---------------|-------|-------|------------|-------|-------|
| 井上 信一 | 木村 伸夫 | 阿部 雅機 | 近藤 雅樹 | 田村 克己 | 上杉 富之 |
| ○映像・音響資料委員会委員 | | | 野村 雅一 | 栗本 英世 | 黒田 悦子 |
| 杉村 棟 | 松山 利夫 | 福岡 正太 | 小山 修三 | 久保 正敏 | 泉 幽香 |
| 南 真木人 | 石森 秀三 | 吉田 憲司 | 東府 義之 | 河野 克俊 | 伊藤 憲彦 |
| 大森 康宏 | 山本 紀夫 | 河野 克俊 | 井上 信一 | 木村 伸夫 | 阿部 雅機 |
| 井上 信一 | 小早川良規 | 阿部 雅機 | ○出版委員会委員 | | |
| ○図書委員会委員 | | | 友枝 啓泰 | 熊倉 功夫 | 秋道 智彌 |
| 杉村 棟 | 熊倉 功夫 | 重松真由美 | 小長谷有紀 | 近藤 雅樹 | 田邊 繁治 |
| 塚田 誠之 | 上杉 富之 | 大丸 弘 | 塚田 誠之 | 杉島 敬志 | 江口 一久 |
| 杉本 良男 | 小山 修三 | 林 勲男 | 庄司 博史 | 柄木田明子 | 三島 禎子 |
| 崎山 理 | 福川 圭子 | 臼杵 陽 | 清水 昭俊 | 佐藤 浩司 | 林 勲男 |
| 井上 信一 | 小早川良規 | 阿部 雅機 | 山本 紀夫 | 長野 泰彦 | 福川 圭子 |
| ○国内資料調査委員会委員 | | | 吉田 集而 | 伊藤 憲彦 | |
| 栗田 靖之 | 熊倉 功夫 | 大塚 和義 | ○環境保全委員会委員 | | |
| 松山 利夫 | 中牧 弘允 | 秋道 智彌 | 石毛 直道 | 杉村 棟 | 和田 正平 |
| 近藤 雅樹 | 大丸 弘 | 小山 修三 | 友枝 啓泰 | 杉田 繁治 | 栗田 靖之 |
| 吉田 憲司 | 佐藤 浩司 | 山本 紀夫 | 松原 正毅 | 東府 義之 | 河野 克俊 |
| 井上 信一 | 木村 伸夫 | 小早川良規 | 伊藤 憲彦 | 井上 信一 | 山岸 大紘 |
| 阿部 雅機 | | | 木村 伸夫 | 小早川良規 | 阿部 雅機 |
| ○情報化委員会委員 | | | ○防災対策委員会委員 | | |
| 杉田 繁治 | 中牧 弘允 | 朝倉 敏夫 | 石毛 直道 | 杉村 棟 | 和田 正平 |
| 立川 武藏 | 田邊 繁治 | 江口 一久 | 友枝 啓泰 | 杉田 繁治 | 栗田 靖之 |
| 杉本 良男 | 黒田 悦子 | 石森 秀三 | 松原 正毅 | 東府 義之 | 河野 克俊 |
| 久保 正敏 | 山本 泰則 | 山田 睦男 | 伊藤 憲彦 | 井上 信一 | 山岸 大紘 |
| 東府 義之 | 井上 信一 | 木村 伸夫 | 木村 伸夫 | 小早川良規 | 阿部 雅機 |
| 小早川良規 | 阿部 雅機 | | ○大学院委員会委員 | | |
| ○展示委員会委員 | | | 和田 正平 | 端 信行 | 清水 昭俊 |
| 石毛 直道 | 大塚 和義 | 熊倉 功夫 | 崎山 理 | 大森 康宏 | 吉田 集而 |
| 中牧 弘允 | 栗田 靖之 | 立川 武藏 | 東府 義之 | 伊藤 憲彦 | |
| 田村 克己 | 端 信行 | 栗本 英世 | ○施設整備委員会委員 | | |
| 吉田 憲司 | 八杉 佳穂 | 崎山 理 | 友枝 啓泰 | 小長谷有紀 | 杉島 敬志 |
| 森田 恒之 | 東府 義之 | 伊藤 憲彦 | 柄木田明子 | 佐藤 浩司 | 山本 泰則 |
| 木村 伸夫 | 阿部 雅機 | | 東府 義之 | 井上 信一 | 山岸 大紘 |
| ○広報・事業委員会委員 | | | 木村 伸夫 | | |
| 和田 正平 | 秋道 智彌 | 朝倉 敏夫 | | | |

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
藤井 知昭	教授 (第二研究部)	7. 4. 4	7. 4.12	ブラジル
秋道 智彌	教授 (第一研究部)	7. 4. 5	7. 4.10	香港
熊倉 功夫	教授 (第一研究部)	7. 4.17	7. 5.19	オランダ, ドイツ, オーストリア

彙 報

近藤 雅樹	助手 (第一研究部)	7. 4.17	7. 5.19	オランダ, ドイツ, オーストリア
黒田 悦子	教授 (第四研究部)	7. 4.21	7. 4.27	イタリア
石毛 直道	教授 (第一研究部)	7. 4.25	7. 5. 5	中華人民共和国
小山 修三	教授 (第四研究部)	7. 4.26	7. 5. 5	アメリカ合衆国, カナダ
福川 圭子	助手 (第五研究部)	7. 4.28	7. 5. 8	イギリス, アメリカ合衆国
大森 康宏	教授 (第五研究部)	7. 5.15	7. 5.27	フランス
清水 昭俊	教授 (第四研究部)	7. 5.16	7. 5.26	オランダ, イギリス
吉田 憲司	助教授 (第四研究部)	7. 5.17	7. 6. 5	イギリス, フランス
杉村 棟	教授 (第二研究部)	7. 5.27	7. 6. 8	スイス, ドイツ, デンマーク
石森 秀三	助教授 (第四研究部)	7. 5.28	7. 6. 4	ベトナム
大森 康宏	教授 (第五研究部)	7. 5.28	7. 6. 6	フランス
江口 一久	教授 (第三研究部)	7. 6. 2	7. 6.15	カナダ
秋道 智彌	教授 (第一研究部)	7. 6. 5	7. 7.10	インドネシア
栗田 靖之	教授 (第二研究部)	7. 6. 4	7. 6.11	アメリカ合衆国
石毛 直道	教授 (第一研究部)	7. 6.14	7. 6.20	大韓民国
吉本 忍	助教授 (第五研究部)	7. 6.23	7. 7.25	インドネシア
森田 恒之	教授 (第五研究部)	7. 6.28	7. 7. 5	モンゴル
小長谷有紀	助教授 (第一研究部)	7. 6.28	7. 7. 5	モンゴル, 中華人民共和国

来館者抄

4月6日	VATSAYAN, Kapila (インド, インディラ・ガンジー記念国立芸術センター理事)	良国立博物館考古室長)
4月12日	廣田 榮治 (総合研究大学院大学長)	BOUCHY, Anne (フランス, フランス国立極東学院主任研究員), 脇田 晴子 (滋賀県立大学人間文化部教授)
4月13日	GLADNEY, Dru. C. (ハワイ大学助教授)	5月1日 MARTIN, Jean-Hubert (フランス, アフリカ・オセアニア美術館長)
4月17日	大貫恵美子 (ウィスコンシン大学)	5月11日 ムナウル・ジャザリ (インドネシア, 最高諮問会議議員)
4月21日	PIRIOU, Tiphaine (フランス, 東洋言語文化研究所)	5月15日 孫 維 学 (中華人民共和国, 文化部对外文化連絡局長), 張 愛 平 (文化部对外文化連絡局一等書記官)
4月24日	顧 洋 虞 (中華人民共和国, 上海博物館副館長), 戴 永 傑 (上海博物館文物修復研究室副研究員), 周 麗 娟 (上海博物館考古部), 井口 喜晴 (奈	5月16日 兵庫県出石郡但東町教育委員会一行

- 6月2日 宋家鼎（中華人民共和国，中国社会科学院民族社会学科），羅紅光（中国社会科学院社会学研究所）
- 6月11日 柳斌（中華人民共和国，国家教育委員会副主任），馬建華（国家教育委員会秘書官），孫建明（国家教育委員会外事局アジア・アフリカ課長），李東翔（在日本中華人民共和国大使館参事官）
- 6月13日 ARIZPE, Lourdes（メキシコ，メキシコ国立アウトノマ大学人類学研究所長）
- 6月19日 KETAVONG, Khampheng（ラオス，情報文化省文化研究所副所長），柳悦州（沖縄県立芸術大学附属研究所助教授），片岡淳（琉球大学教育学部助教授），久万田晋（沖縄県立芸術大学附属研究所講師）
- 新宮康男（住友金属工業株式会社社長）
- 6月26日 高惠星（大韓民国，東嶽研究所長），金京秀（ソウル大学人類学科教授），劉仁善（ソウル大学東洋史学科教授），尹載秀（総務處政府記録保存所専門委員），金興圭（高羅大学民族文化研究所長）

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。
[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]
ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。
[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

(1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。

(2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。

欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13 (4): 311-330.

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14 (4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

1966 『文明をもった生物』日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 20卷 2号

〔監 修〕

佐々木 高 明

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

秋 道 智 彌

江 口 一 久

熊 倉 功 夫

近 藤 雅 樹

佐 藤 浩 司

清 水 昭 俊

庄 司 博 史

杉 島 敬 志

田 邊 繁 治

長 野 泰 彦

森 明 子

吉 田 集 而

平成 7 年 11 月 10 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 20卷 2号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園 10-1
TEL 06 (876) 2151(代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.20 no.2
1995

- KURIMOTO, Eisei **Coping with Enemies: Graded Age System among the Pari of Southeastern Sudan**
- OBAYASHI, Taryo **Ethnic Groups in Border Regions of China in Historical Times: An Appraisal of "Kultur und Siedlung der Randvölker Chinas" by Wolfram Eberhard. Part I: General Considerations**
- IGUCHI, Junko **Text and Narration of Chinese Oral Narrative: The Case of the Narrative Music Genre *Laoting Dagu***



**National Museum
of Ethnology**

Senni Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X